

8-3-1 企画委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回（8月を除く毎月）

(2) 委員会の構成

中期行動計画における、当委員会の役割は、建設コンサルタントの役割の提案、社会資本整備のあり方の提言、契約約款案の作成と提案（再委託のあり方を含む）、社会ニーズの掘り起しと技術開発、自律した経営の実践方策、建設コンサルタントの法制化（適正な登録制度の確立等）である。この目的に沿って、「登録制度専門委員会」、「契約のあり方専門委員会」、「美しい国づくり専門委員会」、「社会資本整備のあり方検討WG」の4つの専門委員会・WGが活動している。各専門委員会・WGの詳細な活動内容については専門委員会・WGの年報を参照されたい。

(3) 委員会の活動

a) 企画委員会

各専門委員会・WGの提案について審議・検討し、企画部会に上申した。また、建設コンサルタンツ協会組織の再編（案）及び倫理綱領の改定（案）を作成し、3月常任理事会で承認された。

b) 登録制度専門委員会

登録の要件・制度の活用等に関して、同制度の活用が遅れている地方自治体（都道府県）を対象に、自治体毎の登録制度に対する認識・活用の可能性を確認するために、ヒアリング調査を実施している（令和元年度も継続予定）。

c) 契約のあり方専門委員会

民法改正を契機とした建設コンサルタント契約の見直しに向けて、国土交通省との事前協議を実施した。また建設コンサルタント契約における損害賠償責任の問題点を明らかにするために賠償責任に関する実態調査アンケートを実施するとともに、大森弁護士を講師

に迎え契約のあり方講習会を5支部（東北、関東、中部、近畿、四国）で開催した。

d) 美しい国づくり専門委員会

平成30年9月15日に第12回JCCA/JIA協働シンポジウム「誰が景観を創るのか？」（テーマ：多様性と融合）を東京都で開催した。

e) 社会資本整備のあり方検討WG

道路の包括的管理業務を主な検討対象としつつもインフラマネジメント全般を対象として、2つのSWG（先端技術調査SWG、自律経営SWG）を設置し、建設コンサルタントの役割を検討してきた。

2. 他委員会との連携状況、関連作業

企画委員長は未来塾メンバーとして国交省技術調査課との会議へ出席するとともに、協議テーマの検討方針を議論した。

また、平成30年度の「要望と提案」、「白書」及び「新中期行動計画」に関する企画委員会担当箇所の資料作成、原稿執筆を行った。

3. 次年度の活動について

協会内の関連委員会と連携を強化し、今年度の活動を継続的に実施する。また、企画委員会内に下記3ワーキングを新設し、当協会の諸課題の解決に向けた検討を行う。

- ・ 建設コンサルタントの新たな役割検討WG
- ・ 報酬のあり方検討WG
- ・ 持続可能な社会の構築検討WG

（企画委員会委員長 中嶋 規行）